

ルオーと人物像

当館が作品を所蔵するジョルジュ・ルオー(Georges Rouault,1871-1958)は、人間の苦悩や慈愛を、独自の主題と油彩技法を通して描いた20世紀フランスを代表する画家です。ルオー・ギャラリーでは、ルオー作品の魅力を様々な切り口から紹介しています。

今回は、ルオーが描いた人物像に注目します。また、昨年当館には、《老兵(アンリ・リュップの思い出)》が新たにコレクションに加わり、調査を進めてまいりました。この度のルオー・ギャラリーでは、本作を初めて公開するとともに、その調査結果も紹介します。

人物像は、ルオーが繰り返し描いた主要なテーマのひとつです。彼が取り上げた人物は、娼婦、道化師、曲馬団の人々、裁判官、官僚、知識人と多岐にわたっており、そのほとんどは単独の半身像で、正面または横顔で画面いっぱいに描かれています。こうした人物像で、特定の人物が描かれることは稀で、彼らはある種の類型として、画家によって観念化された姿で表現されています。彼らは時に、ルオーの憐みや批判の対象として描かれ、またある時には、画家自身の姿が投影されて描き出されています。

こうした人物像の中で、新収蔵作品《老兵(アンリ・リュップの思い出)》は、特定の人物を描いた数少ない作品のひとつです。長らくルオーの家族のもとに大切に保管されていた隠れた名品で、本邦では初公開となります。本作の下層には、1900年頃に描かれたアンリ・リュップのより写実的な肖像画が描かれており、本作はその上に重ねて描かれた作品であると考えられています。ルオー家には、これに関する興味深い逸話が語り継がれており、この度当館では、この逸話についてルオーの孫フレデリック・シェルシェーヴ氏(1938-)にインタビューをとることができました。また、下層の肖像画の存在を確かめるための調査を行いましたので、作品の鑑賞とともに、その調査結果もお楽しみください。

ルオー・ギャラリーでは、パナソニック汐留美術館が所蔵している、日本でも有数のルオーコレクションの中から、テーマごとに作品を展示しています。

ルオーと人物像

2022年7月9日(土) ~ 9月25日(日)

昨年当館には、ルオーが1946年頃に描いた油彩《老兵(アンリ・リュップの思い出)》が新たにコレクションに加わりました。本作は、長らくルオーの家族のもとに大切に保管されていた隠れた名品で、本邦では初公開となります。

この度のルオー・ギャラリーでは、本作とともに、ルオーが描いた人物像を紹介します。また、本作を公開するにあたり実施しました、家族へのインタビューや、調査の報告を映像とパネルにまとめましたので、あわせてご覧ください。

【展示中の作品】

No.	作品名 Titre	技法/材質 Technique and Support	サイズ (H x W cm) Size	制作年 Date
1	道化師 Pierrot	油彩/紙(麻布で裏打ち) Oil on paper lined onto linen	48.2 x 43.4	1937-1938年
2	裁判官 Juge	油彩/薄い紙(麻布で裏打ち) Oil on thin paper lined onto linen	39.0 x 31.2	1939年頃
3	道化師 Clown	油彩/紙(麻布で裏打ち) Oil on paper lined onto linen	67.4 x 52.3	1909年
4	新収蔵作品 老兵(アンリ・リュップの思い出) Le Vétérán (En Souvenir d' Henri Rupp)	油彩/板に貼られた紙 Oil on paper mounted on panel	45 x 30.5	1946年頃
5	横向きの裸婦(『悪の華』1) Nu de profil (Les Fleurs du mal 1)	シュガー・アクアティント、アクアティント/紙 Sugar aquatint, aquatint, on paper	30.6 x 20.5	1936年
6	伏目の娼婦(『悪の華』3) Courtisane aux yeux baissés (Les Fleurs du mal 3)	シュガー・アクアティント、アクアティント/紙 Sugar aquatint, aquatint, on paper	30 x 21.4	1937年
7	自惚れ女(『悪の華』2) Femme fière (Les Fleurs du mal 2)	シュガー・アクアティント、アクアティント/紙 Sugar aquatint, aquatint, on paper	30.5 x 20.3	1938年
8	イルマ嬢(『ユビュおやじの再生』15) Mademoiselle Irma (Réincarnations du Père Ubu 15)	エリオグラヴール、オーフォルト、アクアティント、シュガー・アクアティント他/紙 Photogravure, etching, aquatint, roulette, sugar aquatint, etc. on paper	30 x 18	1928年
9	サント・ニトウシュ(『ユビュおやじの再生』19) Sainte-Nitouche (Réincarnations du Père Ubu 19)	エリオグラヴール、オーフォルト、アクアティント、シュガー・アクアティント他/紙 Photogravure, etching, aquatint, roulette, sugar aquatint, etc. on paper	25.5 x 16.5	1928年
10	大きな帽子の娼婦(『ユビュおやじの再生』22) Fille au grand chapeau (Réincarnations du Père Ubu 22)	エリオグラヴール、オーフォルト、アクアティント、シュガー・アクアティント他/紙 Photogravure, etching, aquatint, roulette, sugar aquatint, etc. on paper	30 x 20	1928年

※作者は全てジョルジュ・ルオー Georges Rouault (1871-1958)です。
※作品の所蔵先は全てパナソニック汐留美術館です。
※作品名のみ、欧文は、フランス語での表記となっています。
※番号は展覧会会場の展示順序と必ずしも一致しません。

【映像作品】 ※当館の公式YouTubeでもご覧いただけます。

No.	タイトル	企画/制作/協力/制作年/時間
1	《老兵(アンリ・リュップの思い出)》～逸話と作品検証～	企画: パナソニック汐留美術館/制作: カッテンカピネット/協力: ジョルジュ・ルオー財団、森絵画保存修復工房、東海大学イメージング研究センター/制作年: 2022年/時間: 約5分

～当館公式YouTubeチャンネルのご案内～

当館公式YouTubeチャンネルで、当館が所蔵するルオー作品の中から、選りすぐりの作品たちを、当館学芸員が順次解説しています。随時更新してまいりますので、ぜひご覧ください！

